



知り供養の念が沸いてくること
でしよう。私も「九死に一生」
の体験をしました。

出征兵士



話は元に戻ります。軽傷だった私たちは二月入院で原隊の東部二二二部隊に戻り終戦直後まで勤務しました。戦後わかったことですが、私たちは硫黄島に向かっておりました。兵隊にはただ南方に行くと云っただけです。今、当時を振り返ると三、四、五番船の戦友二百五十名は昭和二十年三月十七日硫黄島で玉砕しました。運命とはじつにはかないものですね。私たちが健在でいられるのも、多くの戦友、又は同級生の礎の賜物です。薬師堂の慰霊塔に参拝しております。

話は東京湾要塞砲兵連隊に戻ります。連隊に勤務中、昭和二十年五月十九日より二泊三日の外泊が許されて、久しぶりに懐かしい我が家に帰ってきました。そして二泊も隣くうちに過ぎ、帰隊する二十一日、稲田堤駅より中野島にさしかかった時、空襲警報が鳴り、辛うじて登戸駅に着き飛び降り、駅裏の堀に身を寄せた瞬間、クルマ戦闘機爆音と同時に機銃掃射を受けました。空を見上げると一機のB-29から無数の宣伝ビブが落ちて来ました。付近にいた人たちと拾い集めて警官に届ける前に、ふと腦裏に閃きました。記念に腦裏に閃き一枚を素早くポケットにしまい込み駅に戻る途中、鉄路の枕木にグラマンの機銃弾がささっていました。これも何処に隠したらよいか。軍人であるが敵国の物である、宣伝ビラと弾を持つているので、分かれれば憲兵に引き渡さ

所の羽目板に気付き隠しました。思案の末、そうだと便
れまふ。軍務に励んでおりました。八月十四日、隊長より訓示があ
り、明日正午より天皇陛下下
よりお言葉があるとのこと、
一瞬どういふことか分りま
せんでした。皆それぞれ考え
が異なるので、ある者は天皇
自ら激励のお言葉を下さるの
に激励のお言葉を下さるの
だといひ、ある者は天皇、自
ら戦争を終わらせたいと言
うことか、喧喧諤諤、終わる
を知らず明けて十五日正午に
将兵が集合、指揮台の上に
ラジオが置かれて、将兵は緊
張の極に達してました。厳
かに聴こえる神の声、やは
り戦争を終わらせるお言葉
でした。彼方此方からすすり
泣く声と、そのうち徹底交
戦を叫ぶ声その騒音の中、
隊長の渾身の力と、然とし
た声で響きました。我々、
軍人は陛下の子として陛



下のご意志どおり、忍びがた
きを忍んで行動しよう、この
言葉に将兵は我々に返り十六
十七日身辺整理、十八日解散
式それぞれ懐かしい古里に向
かった。そして残務整理委員
として東京、神奈川県、千葉
県出身者は残りアメリカ軍に
武器を引き渡し、八月二十日
我が家に帰って来ました。帰
り際に隠しておいた宣伝ビラ、
グラマンの弾、そして許可を



町会の皆さまには、花壇の維持管理には、大変お世話になっております。花壇の手入れをしていると、通りかかりの奥様方から「いつもきれいにして頂いて有り難う」のお言葉を頂き益々やる気になります。さて

得て鉄兜、千人針、日章旗、水筒も持ち帰る事が出来た。このようなことが私の戦争体験です。この品々は我が家の家宝として飾ってあります。毎年巡って来る八月十五日、この品々を見てみると、当時の事柄が走馬灯の如く、度と戦争を駆け巡ります。二度と戦争を起さないため、個人、個人の戦争体験を「朗読劇」にしてあの戦争を振り返り、戦争の悲惨さや平和の大切さを、次の世代である子どもたちに伝えるべく「語りつごう、それぞれの戦争」というイベントで多摩区内の小学校や、市民館や平和館の「平和館のつどい」などで活動しております。私も九十一歳の高齢となり、今生の戦争体験を、昔町会の皆さまに知って頂きたいと思い、掲載させて頂きました。

皆様からの善意の募金が下記の通り集まりました。
ご協力、誠にありがとうございました。

記

本年度 1,987,695 円
(前年 1,995,742 円 - 8,047 円)
平成 27 年 11 月

皆様からの善意の募金が下記の通り集まりました。
ご協力、誠にありがとうございました。

記

本年度 1,987,695 円
(前年 1,995,742 円 - 8,047 円)
平成 27 年 11 月



十一月に入り写真の「ほうき草」が、きれいに色付きました。が終われば種を採取して、来年につなげられればと思っております。

自然落下の種から来春と一緒に出るか？昨年春は雑草のように成木が出来るが今年のような成木が出来たらと新芽から育てなければ責任を感じております。

茗苣会環境整備委員長 栗本

菅町会だより



多摩消防署長
並木 努

菅田金たよりに
寄せて

濃沼会長をはじめ、菅町会の皆様は、日頃から防火バトロール、家庭用消火器の普及活動などの火災予防活動にご協力いただき、誠にありがとうございますとございます。

改めて感謝申し上げます。

今年に入り多摩区では、十一月十五日現在で四十件（昨年同期三十九件）の火災が発生し、死者二名、負傷者が三名出ています。原因別では、「放火」が一番多く十二件、次いで「こんろ」六件、「たばこ」五件となっています。

年末に掛けて慌しくなりますので、火の元には引き続きご注意ください。

さて、全国に目を向けますと、今年は台風の当たり年でした。

その中でも台風十八号は、多摩区内では西生田で一箇所崩壊が発生して、川崎市内の土砂災害警戒区域全てに避難が勧告されました。

また、茨城県常総市の鬼怒川の堤防が決壊し、瞬く間に川に家屋が流され、屋根の上などに取り残された人達が行方不明で救助されている映像が流れていました。

まず、菅町内の区域は、多摩川沿いの区域と丘陵地が主要であるので、多摩川沿いの区域は、この鬼怒川の堤防決壊が気になり、丘陵地の皆様は川崎市が土砂災害警戒区域に避難を勧告しないということが気になるのではないだろうか。

一方、平成七年の阪神淡路大震災では、街中が火の海になる光景と初期消火活動等々の重要性がクローズアップされ「自助・共助・公助」という言葉が生れました。

さらに、東日本大震災では、津波の恐ろしさを目の当たりにし、川崎市内でも津波避難施設が指定された。

防災・減災は地震、水害に分け、その対策や対処方法が検討され必要な資機材が準備されますが、この場合、全国ニュースで取り上げられたものを準備するのでなく、その地域の特性と歴史を考慮し、準備することが重要になります。

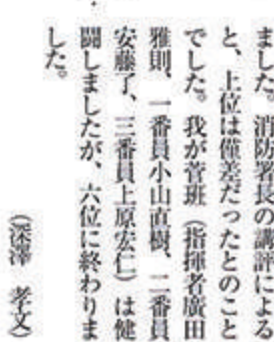
菅町会は広いことから、地区毎に地域特性が考慮され備えがされていますが、ここで、もう一度課題を抽出してみて

多摩消防団消防大会



第十六回多摩消防大会が七月十二日（日）九時三十分から十二時まで明治大学生田キャンパスで行われました。

会場は緑豊かな落ち着いた雰囲気、消防警察、消防団OB、開会式、消防警察、消防団OB、議員、家族などたくさんの方



競技は指揮者、一番員、二番員、三番員、計四名の小型ポンプの放水訓練です。各班ともに指揮者の下きまきびした動作で日頃の訓練が見て取れる競技振りでした。

成績は一位中野島班、二位東生田班、三位登戸班の順となりました。



普會館に於いて救命講習会が行われ、二十名余りの参加者がありました。講習の内容は CPR(心肺蘇生法)や AED(自動体外式除細動器)の使い方をしました。講習は石塚康仁氏ら二名で行われ、講習の後はグループに分かれ、練習用人形を用いての実施訓練を行いました。(井上 武)

普會館に於いて救命講習会が行われ、二十名余りの参加者がありました。講習の内容は CPR(心肺蘇生法)や AED(自動体外式除細動器)の使い方をしました。講習は石塚康仁氏ら二名で行われ、講習の後はグループに分かれ、練習用人形を用いての実施訓練を行いました。(井上 武)



廣田豆腐店

老舗の味を御賞味下さい。

多摩区菅北浦2丁目1番3号

TEL.944-2258 定休日
FAX.944-2398 土曜日

地元のみなさまにご奉仕する日立の店
 日立家電サービス技術認定店
 日立チェーンストール
株電化ショップ。たじま
 全メーカー家電取扱い（一部除く）
 多摩区菅1-3-12 Tel(944)6190

Afresh あなたに、あたらしく。



Bank of Yokohama

横浜銀行

稲田堤支店

TEL:044-944-4111

<http://www.boj.co.jp/>

 **SUBARU**
 販売・車検・点検・修理
板金・塗装・保険代理
グッズ・パーツ取扱い店

スバルショップ多摩

土・日も営業中! お気軽にご相談下さい
TEL 044-944-4543(代)
FAX 044-944-4569

[illegible]